

4-4-2 第3回「自然史王国信州を歩く～溪谷編～」

【開催日時】 2008年8月31日(日) 8:40～13:00

【場所】 阿寺溪谷(大桑村)

【主催】 長野県環境保全研究所

【企画と案内】 長野県環境保全研究所 富樫 均・尾関雅章

【募集対象】 一般(小学校高学年以上)20名

【参加者】 27名(内案内者2名)

【テーマ】 溪谷の魅力

【目的・ねらい】

信州には大小の見事な溪谷がたくさんあります。とくに木曾地域には透明度の高い美しい溪谷が多くあります。美しい溪谷をつくるのは古くて堅い岩石と、激しい地殻変動と豊かな水の流れです。また水流で磨かれた岩は、きれいな石の素顔を見せてくれます。地形をつくる働きを知るとともに、他の地域とはちがう木曾谷特有の植物の様子などを観察します。

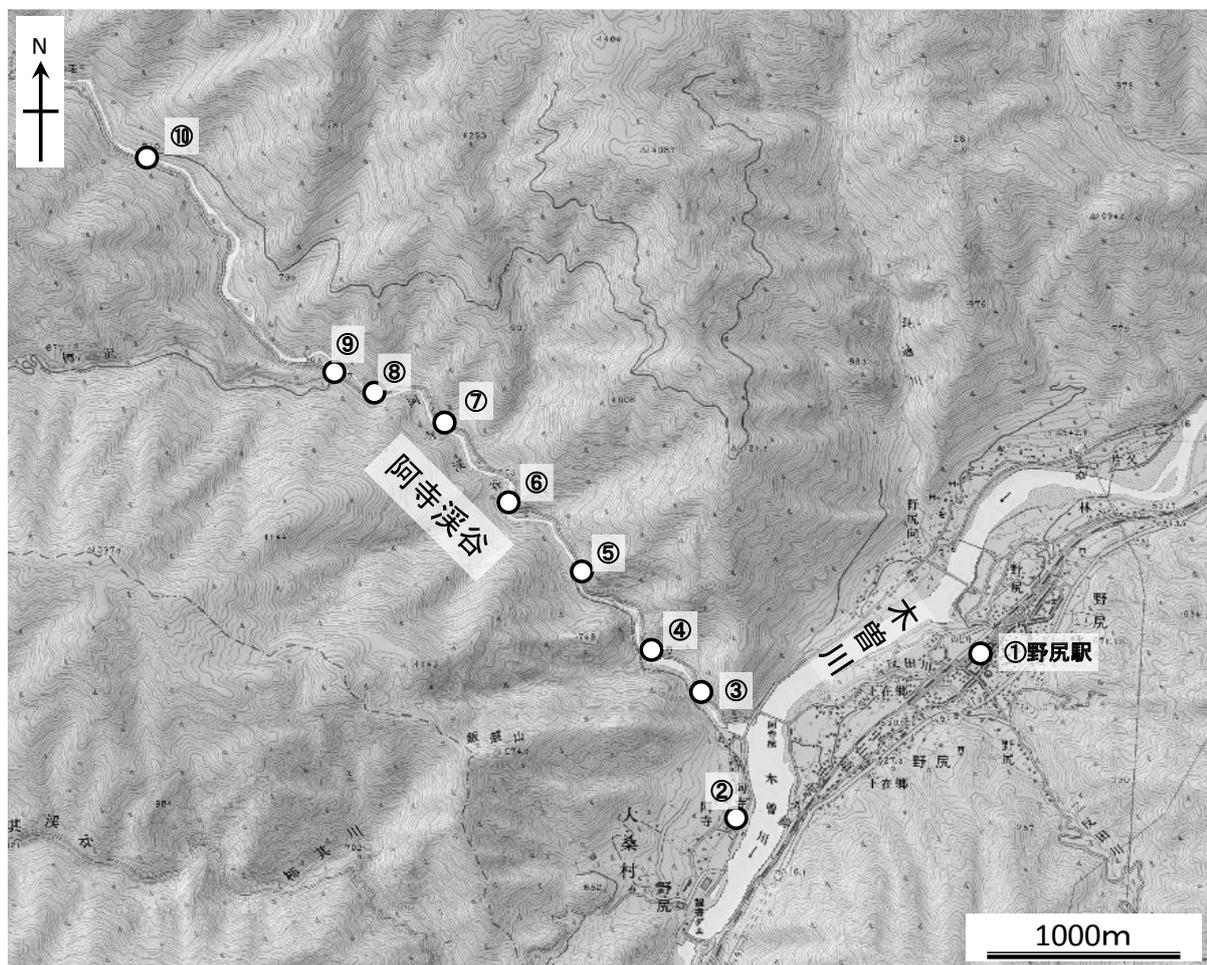


図4-4-4 第3回「自然史王国信州を歩く」のルートと観察ポイント
(国土地理院データをカシミール3Dを用いて表示)

★観察ルートと観察ポイント(数字は図4-4-4の中の数字の場所に対応)★

- ① 集合場所(野尻駅)
- ② 駐車場
- ③ 阿寺溪谷の入り口(溪谷の出来方と断層地形観察)
- ④ 溪谷をつくる石の観察(花崗岩)、溪谷の植生の観察
- ⑤ 旧森林鉄道の橋
- ⑥ 溪谷をつくる岩石(花崗岩の周縁部)
- ⑦ 狸ヶ淵(火山角礫岩と溪流植物)
- ⑧ 犬帰りの淵(溪谷美)
- ⑨ 休憩所(トイレ)島木赤彦歌碑
- ⑩ 溪谷をつくる岩石(濃飛流紋岩)

【参加者の主な感想】

- ・水が美しかった。花崗岩などはこれまで意識しなかったが、興味がわいた。
- ・これまで来たいと思っていてもこれなかったが今回やっと来ることができた。
- ・天気がよくて、見ていると心が洗われるような気がした。歩くと見えるものが違う。
- ・阿寺にははじめてきたが、溪谷の様子に感動した。
- ・信州の北と南の自然の違いが感じられた(長野市在住)。
- ・聞くこと見ることがとても新鮮だった
- ・木曾に住んでいるのに来たことがなかったが、すばらしいところだと思った
- ・何千万年もの地質の話が好きで講座に参加。植物の違いにも自然の広がりを感じた。
- ・北信と違う植物や、溪谷の地形をみることでよかった
- ・これから岩石に興味をもつきっかけになるような気がする

【企画者の反省】

<実施にあたって配慮・工夫した点>

- ・ルートは単調な林道が1本通っているだけで、遊歩道がない。観察が単調にならないよう、場所を選んで、ときおり河床へ降りた。ゆっくり観察する地点と、まとめてさっさと移動する地点と、メリハリをつけた。
- ・長野や松本などからはかなり距離がある場所なので、公共交通機関の利用者への便を考慮し、企画段階で開催時刻を早めることにした。
- ・地元に住んでいながら、初めての体験で感動したとの声が複数あった。

<課題など>

- ・溪流沿いの観察では、水流の音が大きく、説明の声が参加者全員に届きにくい。
- ・足場の不安定さや安全面を考慮すると、今回の25名という参加者数はやや多すぎたかもしれない。



木曾川のわきで河岸段丘や断層地形を観察



河床の大岩の上ののってみよう



川に磨かれた花崗岩や溶結凝灰岩を観察



溪谷の植生について



森林鉄道跡の橋を渡る



木曾の特徴的な広葉樹三種について

図4-4-5 第3回「自然史王国信州を歩く～溪谷編～」当日の様子